

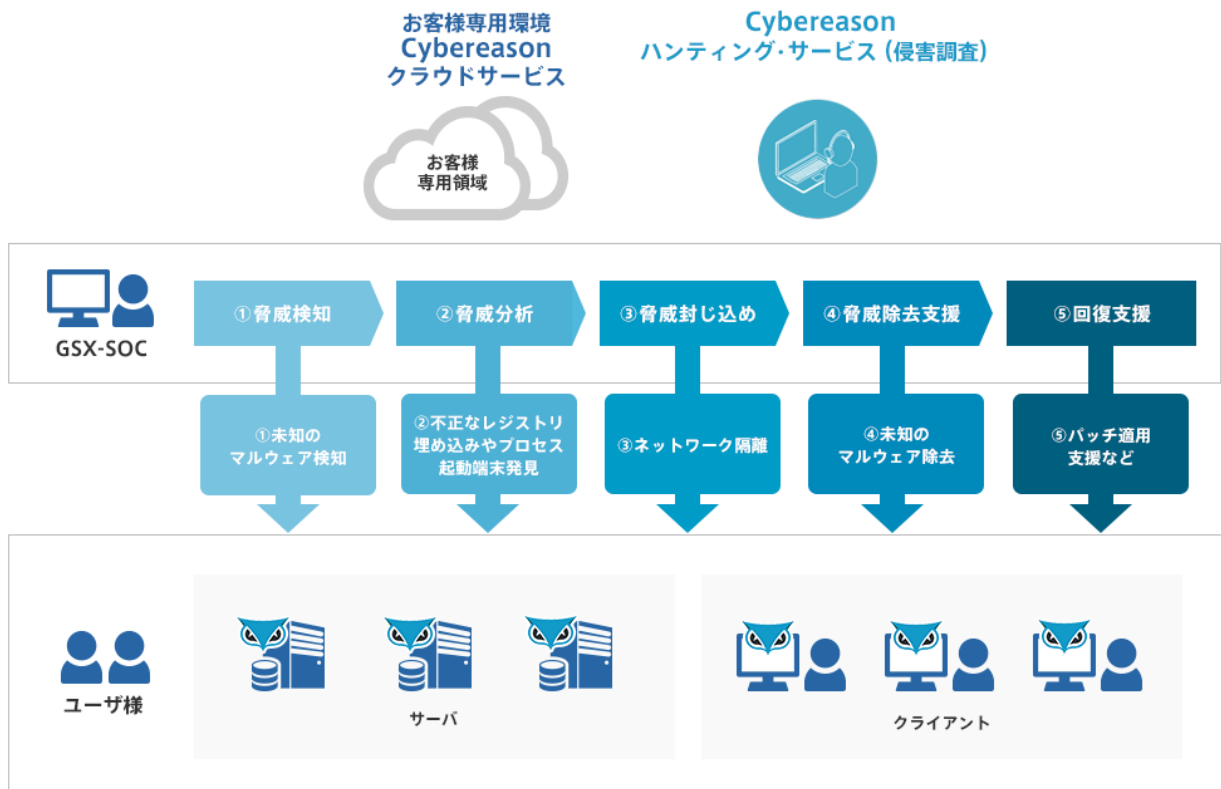
## GSX-SOCのMDRサービスがCybereason EDR及びCybereason NGAVに対応

～ もはやインシデント・レスポンスに不可欠なEDR製品の実運用（MDR）を支援する ～

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区海岸1-15-1、代表取締役社長：青柳 史郎、<https://www.gsx.co.jp/>、以下、GSX）は、サイバーリーズン・ジャパン株式会社（本社：東京都港区東新橋1-9-2、CEO：シャイ・ホロヴィッツ、<https://www.cybereason.co.jp/>、以下、サイバーリーズン）の提供するCybereason EDR及びCybereason NGAVについて、同製品を対象にしたGSX独自のMDR（Managed Detection & Response）サービスをリリースしました。

### ◆Cybereason EDR及びCybereason NGAVユーザにご提供するGSX-SOC MDRサービスとは

Cybereason Complete Endpoint Protection（次世代エンドポイントセキュリティプラットフォーム）のエンドポイント・セキュリティにおける各製品導入後のサポートとして、24時間365日のセキュリティ監視サービスです。サーバやエンドポイントにおける脅威検知をはじめ、脅威分析、脅威封じ込め、検知後の即時遮断や感染後の対応方法の助言として脅威除去支援、回復支援までを一気通貫したご支援を実施します。



## ◆企業にとってEDR（Endpoint Detection & Response）が必要とされる背景とは

近年の企業を取り巻くセキュリティ脅威の変化として、かつては愉快犯が中心であった外部脅威がランサムウェアに代表されるように身代金目的や企業の機密情報の窃取など、仮に被害にあった場合には金銭的実害が出るケースが増加しています。更に、外部脅威として攻撃の変化も見過ごすことはできず、これまで脅威への対策は特定の原因（例、マルウェアなど）を発見する試みとして「侵入検知」が代表的な対策例でしたが、近年は特定の原因が存在しない攻撃（例、正規プログラムによる侵害）も増加しています。

また攻撃の変化と深化として、「Port Scan（偵察）」「ツールを用いたExploit」「既知のマルウェアを用いたExploit」「未知の脆弱性を突くExploit」などの攻撃は日々深化しており、様々な手段で攻撃者は侵入を試みます。続々と生まれるマルウェア、ファイルレス攻撃などの台頭に対峙するには、仮に侵入されたとしても、その脅威を発見できる仕組みの必要性も去ることながら、脅威の侵入を止めるということも重要な要素になります。

すなわち、攻撃の深化により侵入後の検知能力を向上する必要があると、初期侵入先である端末を5W1H的に正確に検知できることが肝要になります。

- ・ When : いつから感染しているのか？
- ・ Where : どこで感染したのか？
- ・ Who : どのノードが感染したのか？
- ・ What : 何の脅威によって感染したのか？
- ・ Why : 何が原因で感染したのか？
- ・ How : どのような経路で感染に至ったのか？

侵害の進行を検知し、範囲を特定し、隔離するまでの早期発見と対処が今、企業に求められています。

## ◆GSX-SOC MDRサービスとは

EDR市場の複数製品のエンドポイント・セキュリティにおける各製品導入後のサポートとして、24時間365日のセキュリティ監視サービスです。エンドポイントでの不正な挙動の検知の通知と、検知後の即時遮断や感染後の対応方法のご助言などを行います。

MDRサービスのインシデント重要度定義については、以下をご覧ください。GSX-SOCではアラート通知の重要度を以下の3種に分類し、重要度に応じて電話やメールにてお客様に通知しております。

重要度	重要度詳細	GSX-SOCでの対応	通知方法	お客様側対応例
高	セキュリティ侵害によりお客様の資産にとって重大な脅威となり得るイベントが確認されたインシデント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話及びメールでご連絡します</li> <li>・ ネットワーク隔離を実施します</li> <li>・ 解析レポートをご提出します</li> </ul> ※お客様との事前取決により、お客様の確認を待たずに、先行して隔離する事も可能です	アナリストが重要度の判定後、60分以内を目途に速報通知をお送りします。その後、翌営業日以内を目途に詳細な解析レポートをお送りします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該ホストの調査もしくは再セットアップなどのご対応</li> <li>・ 対応完了時の隔離解除連絡</li> </ul>

<b>中</b>	検知時点でセキュリティ侵害活動は防止されているが、マルウェア除去などエンドポイントに残る脅威への対応が必要なインシデント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールでご連絡します</li> <li>・解析レポートをご提出します</li> </ul>	アナリストが重要度の判定後、60分以内を目途に速報通知をお送りします。その後、翌営業日以内を目途に詳細な解析レポートをお送りします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解析結果のご確認</li> <li>・マルウェアの駆除</li> </ul>
<b>低</b>	お客様の資産にほとんど影響がないと思われるインシデント	月次レポートでアラート統計をご連絡します	月次レポートでご連絡します	必要に応じてアラートを確認します

GSX-SOC MDR サービス詳細については下記 URL をご覧ください。

<https://www.gsx.co.jp/soc/index.html#MDR>

#### ◆本リリースに関する賛同文

・サイバーリーズン・ジャパン株式会社からのエンドースメント

GSX様の提供されるMDRサービスに、イスラエル軍の諜報部隊で培った知見をベースにしたCybereasonの技術を組み合わせていただくことで、お客様は高度なサイバー攻撃の兆候をリアルタイムに検知・阻止する環境を手に入れていただけます。サイバーリーズンはGSX様とともに、お客様に強固なサイバーセキュリティ環境をご提供すべく取り組んでまいります。

サイバーリーズン・ジャパン株式会社 執行役員社長 茂木 正之

#### ◆サイバーリーズン・ジャパン株式会社について

社名 : サイバーリーズン・ジャパン株式会社  
 本社 : 〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2  
 代表者 : CEO シャイ・ホロヴィッツ  
 資本金 : 494,999,640円  
 設立 : 2016年3月9日  
 コーポレートサイトURL : <https://www.cybereason.co.jp/>

#### ◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社  
 本社 : 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウムビル4F  
 代表者 : 代表取締役社長 青柳 史郎  
 資本金 : 1億円  
 設立 : 2000年4月  
 コーポレートサイトURL : <https://www.gsx.co.jp/>

－ GSX は、サイバーセキュリティ教育カンパニーに生まれ変わります －

わたしたちは、情報セキュリティ・サイバーセキュリティに特化した専門会社であり、セキュリティコンサルティング、脆弱性診断、サイバーセキュリティソリューションをはじめ、日本初のセキュリティ全体像を網羅した教育メニューや情報セキュリティ特化事業再生支援サービスをご提供しています。

以下のように「教育」という観点を各事業の軸に据え、お客様へセキュリティへの気づきを与え、セキュリティ市場を活性化する事で、日本の情報セキュリティレベル向上に貢献します。

▶ 直接的な教育貢献

総合的な教育事業提供社として、EC-Council セキュリティエンジニア養成講座を介してセキュリティエンジニアを輩出し、標的型メール訓練サービスやITセキュリティeラーニングである **Mina Secure®**及びサイバーセキュリティ演習サービスを介してお客様のセキュリティリテラシーを向上します。

▶ 間接的な教育貢献

GSXの既存事業（脆弱性診断サービス、コンサルティングサービス、サイバーセキュリティソリューションサービス）を介して、各サービスに関するサイバー犯罪やそのリスク、さらにお客様の現状の課題についての「気づき」と、対策の正しい進め方を提供することで、あらゆる事業活動を教育啓蒙の場として活用します。

▶ 市場活性化としての教育貢献

この度の協業のように、お客様の情報セキュリティリテラシー向上のため、共にお客様をサイバー脅威などから守れる業界のプレイヤー（パートナー様）を増やすことを目指します。志を同じくするプレイヤーを増やすことで、さらなる市場の活性化を推進します。

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

**【本リリース内容に関するお問い合わせ先】**

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 経営企画本部 マーケティング部  
TEL : 03-3578-9001 (代) E-mail : mktg@gsx.co.jp